

つながる鎌倉エール事業（協働コース） 審査選考結果

事業名・担当		審査項目										合計	結果
		公益性	事業内容	手法	役割分担	計画	事業の必要性	協働の必要性	協働自体の効果	協働の成果	双方の実施体制		
1	自治会町内会デジタル化支援 ～鎌倉型『自走』サポートプロジェクト	4.2	3.4	3.2	3.6	3.6	4.2	4.2	3.4	3.4	3.6	36.8	採択
	団体：特定非営利活動法人 鎌倉シチズンネット												
	担当課：地域のつながり課												

※印の項目の平均点が3点以上で、かつ合計が30点以上の団体から採択。

鎌倉市市民活動推進委員会選考部会による講評

1 自治会町内会デジタル化支援～鎌倉型『自走』サポートプロジェクト

- 事業内容については、地域における需要が高く、協働で行う意義もあり希望が持てる事業である。
- 市が目指す「市民自治」を考えるきっかけとなる事業となる可能性が高く、さらに先のビジョンも持って進められるとなお良い。
- デジタル化導入に向けた説明会やスマホ教室など、自治会町内会の伴走支援のため実働の人数が必要になるため、団体としても新たなメンバーの確保に向けた仕組みづくりを検討してもらいたい。
- 商店街や企業、学校等の協力を得るなど、地域を巻き込んで実施する手法も検討したらどうか。
- スマホ教室については、同様の取組を行っている別の市民活動団体との連携も視野に進めてほしい。
- 3年間で40～45団体の導入を目指すということだが、関係部署と連携をするなど協働事業が終了するその先についても見据えて取り組んでほしい。